

「アスリートイメージ評価調査」2013年8月調査結果速報
「勢いを感じる」アスリートは桐生祥秀、田中将大、瀬戸大也、松山英樹、藤浪晋太郎。
若手アスリートへの期待高まる！

株式会社博報堂DYスポーツマーケティング(本社:東京都港区 社長:豊田真嗣)は、株式会社博報堂DYメディアパートナーズ(本社:東京都港区 社長:大森壽郎)、データスタジアム株式会社(本社:東京都世田谷区 社長:加藤善彦)と共同で、アスリートの総合的なイメージを測定する「アスリートイメージ評価調査」を行いました。

イメージ総合ランキング上位は、1位にイチロー(野球)、2位に浅田真央(フィギュアスケート)、3位に本田圭佑(サッカー)、4位にダルビッシュ有(野球)、5位に澤穂希(サッカー)という結果となり、世界のトップレベルで活躍し続けているアスリートがランクインしています。

「好感がもてる」アスリートは、1位にイチロー(野球)、高梨沙羅(スキー<ジャンプ>)、3位に長谷部誠(サッカー)、4位に浅田真央(フィギュアスケート)、田中将大(野球)という結果となりました。実力を支える地道な努力を重ねているアスリートが評価されているようです。

「知性的な」アスリートは、1位にイチロー(野球)、2位に長谷部誠(サッカー)、3位にクウム伊達公子(テニス)、4位に為末大(陸上)、5位に太田雄貴(フェンシング)という結果となり、世界の舞台で評価されたアスリートがランクインしています。

「爽やかな」アスリートは、1位に錦織圭(テニス)、2位に入江陵介(水泳)、3位に石川遼(ゴルフ)、4位に瀬戸大也(水泳)、5位に羽生結弦(フィギュアスケート)という結果となり、若手で華麗なプレーで活躍するアスリートが上位を占めています。

「親しみやすい」アスリートは、1位に福原愛(卓球)、2位に澤穂希(サッカー)、3位に浅田真央(フィギュアスケート)、4位に吉田沙保里(レスリング)、5位に田中将大(野球)、福士加代子(マラソン)という結果となり、競技を終えてのインタビューの受答えなどのイメージも反映されているようです。

「常にチャレンジ精神を待ち続けている」アスリートは、1位にイチロー(野球)、2位にクウム伊達公子(テニス)、3位に川内優輝(マラソン)、4位に本田圭佑(サッカー)、5位に北島康介(水泳)という結果となりました。チャレンジ精神を失わないベテランアスリートが上位にランクインしています。

「勢いを感じる」アスリートは、1位に桐生祥秀(陸上)、2位に田中将大(野球)、3位に瀬戸大也(水泳)、4位に松山英樹(ゴルフ)、5位に藤浪晋太郎(野球)という結果となり、意欲的な若手アスリートが上位になっています。

なお、「2020年オリンピック開催が東京に決まった場合の会場観戦意向」について調査したところ、「会場で観戦したい+やや会場で観戦したい」という人が全体の44.5%という結果となりました。(調査実施が東京開催決定時前のため)

また、今回は生活者に対するインターネットアンケート調査とは別に、ソリッドインテリジェンス[※]の協力の下、8月1日～31日までの調査対象アスリートに関するツイッターでのツイート数ランキングも調査しました。1位にイチロー(33,420件)、2位ウサイン・ボルト(15,372件)、3位に本田圭佑(8,169件)、4位に田中将大(6,658件)、5位にリオネル・メッシ(5,662件)、6位にエレナ・インバエワ(5,629件)、7位に香川真司(4,946件)、8位にネイマール(4,307件)、9位に長谷部誠(3,418件)、10位に石川遼(3,267件)となっています。

この調査はCMキャスティングの際に使用する基礎データとしての活用を主な目的とし、対象アスリートの認知、好意度のほか、博報堂DYメディアパートナーズグループが独自に構築した29項目のイメージ評価によるオリジナル調査です。

今後も定期的に「アスリートイメージ評価調査」を実施し、アスリートのイメージ評価がどのように変化していくのか分析を行ってまいります。

■主な調査結果

1) イメージ総合ランキング上位は、「イチロー」「浅田真央」「本田圭佑」

- 1位: イチロー(野球)
- 2位: 浅田 真央(フィギュアスケート)
- 3位: 本田 圭佑(サッカー)
- 4位: ダルビッシュ 有(野球)
- 5位: 澤 穂希(サッカー)
- 6位: クルム 伊達公子(テニス)
- 7位: リオネル・メッシ(サッカー)
- 8位: 田中 将大(野球)
- 9位: 北島 康介(水泳)
- 10位: 吉田 沙保里(レスリング)

2) “好感もてる”アスリートには、「イチロー」「高梨沙羅」「長谷部誠」

- 1位: イチロー(野球)
- 1位: 高梨 沙羅(スキー<ジャンプ>)
- 3位: 長谷部 誠(サッカー)
- 4位: 浅田 真央(フィギュアスケート)
- 4位: 田中 将大(野球)

3) “知性的な”アスリートには、「イチロー」「長谷部誠」「クルム伊達公子」

- 1位: イチロー(野球)
- 2位: 長谷部 誠(サッカー)
- 3位: クルム 伊達公子(テニス)
- 4位: 為末 大(陸上)
- 5位: 太田 雄貴(フェンシング)

4) “爽やかな”アスリートには、「錦織圭」「入江陵介」「石川遼」

- 1位: 錦織 圭(テニス)
- 2位: 入江 陵介(水泳)
- 3位: 石川 遼(ゴルフ)
- 4位: 瀬戸 大也(水泳)
- 5位: 羽生 結弦(フィギュアスケート)

5) “親しみやすい”アスリートには、「福原愛」「澤穂希」「浅田真央」

- 1位: 福原 愛(卓球)
- 2位: 澤 穂希(サッカー)
- 3位: 浅田 真央(フィギュアスケート)
- 4位: 吉田 沙保里(レスリング)
- 5位: 田中 将大(野球)
- 5位: 福士 加代子(マラソン)

6) “常にチャレンジ精神を持ち続けている”アスリートには、「イチロー」「クルム伊達公子」「川内優輝」

- 1位: イチロー(野球)
- 2位: クルム 伊達公子(テニス)
- 3位: 川内 優輝(マラソン)
- 4位: 本田 圭佑(サッカー)
- 5位: 北島 康介(水泳)

7) “勢を感じる”アスリートには、「桐生祥秀」「田中将大」「瀬戸大也」

- 1位: 桐生 祥秀(陸上)
- 2位: 田中 将大(野球)
- 3位: 瀬戸 大也(水泳)
- 4位: 松山 英樹(ゴルフ)
- 5位: 藤浪 晋太郎(野球)

■調査概要

- ・調査方法 : インターネットアンケート調査
- ・調査地区 : 首都圏＋京阪神圏
(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県)
- ・調査対象者 : 対象エリアに在住の15～69歳の男女
- ・有効回収サンプル数 : 600サンプル
- ・調査期間 : 2013年8月21日～25日

※ ソリッドインテリジェンスについて

- ・社名 : ソリッドインテリジェンス株式会社
- ・本社 : 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-17-2 太陽生命渋谷ビル7階
Tel 03-6427-2565 / Fax 03-6427-2566
- ・代表者 : 代表取締役林健人
- ・設立 : 2013年4月2日
- ・資本金 : 9,900,000円
- ・株主 : データセクション株式会社100%
- ・事業内容 : コンサルティング事業-事業開発、レポート、ソーシャルデータ集計等
調査事業-Web、アンケート、グループインタビュー等その他事業-セミナー、講演活動、及び執筆事業等

■本件に関するお問い合わせ先

博報堂DYスポーツマーケティング 経営計画・管理部 酒井 03-6441-7990